

令和7年度（2025年度）春季入学

大学院環境共生学研究科 学生募集要項

（博士前期課程）

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

（博士後期課程）

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

* 「一般選抜」及び「社会人特別選抜」のうち国際協力枠については別冊をご覧ください。

- ・ 出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出する一連の手続となります。）に限ります。
- ・ 出願に当たっては、必ず本要項及び本学入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」を確認してください。
- ・ 出願書類の提出は、郵送又は持参により行ってください。



目次

環境共生学研究科の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）	1
入学試験日程・募集人員一覧	2

博士前期課程 学生募集要項

1 募集人員	5
2 出願資格	5
3 出願期間	6
4 出願手続	6
5 選抜方法	
一般選抜	10
社会人特別選抜	12
外国人留学生特別選抜	13
6 出願資格審査について	14
7 合格発表	15
8 入学手続	15
9 本学学部卒業生の大学院入学者への優遇措置（入学金免除制度）について	16
10 授業料	16
11 成績の情報提供（開示）について	16
12 個人情報の取扱いについて	17
13 その他注意事項	17
環境共生学研究科（博士前期課程）のご案内	18
研究分野の特色	20
指導教員等一覧	22
研究志望調書等様式	

博士後期課程 学生募集要項

1 募集人員	31
2 出願資格	31
3 出願期間	31
4 出願手続	32
5 選抜方法	
一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 共通	34
6 オンラインによる受験について（外国人留学生特別選抜に限る。）	35
7 出願資格審査について	36
8 合格発表	37
9 入学手続	37
10 授業料	38
11 成績の情報提供（開示）について	38
12 個人情報の取扱いについて	38
13 その他注意事項	38
環境共生学研究科（博士後期課程）のご案内	39
指導教員等一覧	41
研究志望調書等様式	

大学施設配置図

本要項の内容に変更が生じた場合は本学大学院入試ホームページにてお知らせしますので、常に最新の情報をご確認ください。

本学大学院入試ホームページ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>

環境共生学研究科の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

1 人材養成の目標

(1) 博士前期課程

ア 高度専門職業人の養成

環境問題に造詣の深い人材への社会的需要は極めて大きいため、環境共生に関する専門的・学術的な知識を有する高度専門職業人の育成を目指します。

イ 研究者の養成

大学院博士後期課程へ入学できる人材を養成するとともに、公的研究機関や企業の研究開発部門で活躍できる人材の養成を目指します。

ウ 高度教育者の養成

高度な専門的知識を有し、教育分野で活躍できる人材の養成を目指します。

エ 社会人の再教育

社会人に対しても広く門戸を開放することによって、改めて「環境」の視点から、自ら専門分野を再学修する機会を提供し、環境共生に関する広くかつ専門的な知識を備えた人材を養成します。

(2) 博士後期課程

ア 高度専門職に携わる人材の養成

環境問題に造詣の深い人材への社会的需要は極めて大きいため、環境共生に関する専門的・学術的な知識を有する将来指導的立場となりうる高度専門職業人の育成を目指します。

イ 研究者の養成

大学等で環境に携わる教育研究者として活躍できる人材、あるいは公的研究機関や企業の研究開発部門で指導的立場で活躍できる人材の養成を目指します。

ウ 社会人の専門分野の高度教育

社会人に対しても広く門戸を開放することによって、改めて「環境」の視点から、自らの専門分野を再学修する機会を提供し、指導者として、環境共生に関する広くかつ専門的な知識を備えた人材を養成します。

エ 留学生の人材養成

国外の修士の学位(または相当する学力)を有する学生または社会人を受け入れ、環境共生学の基本理念、専門的知識と技術を備えた指導的人材を養成します。

2 求める人材像

(1) 博士前期課程

環境共生学研究科の理念に基づき、学部において基礎学力、プレゼンテーション能力、語学力を身に付けており、高い研究学修意欲があると認められる学生、もしくは関連分野において同等の実務経験を持つ社会人。

(2) 博士後期課程

環境共生学研究科の理念に基づき、博士前期課程において専門分野の基礎学力、専門知識、プレゼンテーション能力、語学力を身に付けており、より高度な研究に対する意欲があると認められる学生、もしくは専門の関連分野において研究開発の実務経験を持つ社会人。

3 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、本学が定める学力検査（英語、専門科目）、面接及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

入学試験日程・募集人員一覧

博士前期課程

【試験実施日程一覧】

	出願資格審査 申請期間	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
秋季募集	実施しません。	令和6年 7月22日(月) ～7月26日(金)	令和6年 8月24日(土)	令和6年 9月2日(月)	令和6年 9月9日(月) ～9月13日(金)
春季募集	令和6年 11月1日(金) ～11月8日(金) ※結果通知到着 12月13日(金)まで	令和7年 1月6日(月) ～1月10日(金)	令和7年 2月8日(土)	令和7年 2月17日(月)	令和7年 3月13日(木) ～3月19日(水)

【募集人員】

秋季募集	20名（一般選抜（国際協力枠を含む。）、社会人特別選抜（国際協力枠を含む。）、外国人留学生特別選抜の計）
春季募集	若干名（一般選抜（国際協力枠を含む。）、社会人特別選抜（国際協力枠を含む。）、外国人留学生特別選抜の計）

博士後期課程

【試験実施日程一覧】

	出願資格審査 申請期間	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
春季募集	令和6年 11月1日(金) ～11月8日(金) ※結果通知到着 12月13日(金)まで	令和7年 1月6日(月) ～1月10日(金)	令和7年 2月11日(火・祝)	令和7年 2月17日(月)	令和7年 3月13日(木) ～3月19日(水)

【募集人員】

春季募集	3名（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計）
------	-------------------------------

博士前期課程

令和7年度(2025年度)熊本県立大学大学院 環境共生学研究科(博士前期課程)【春季入学】

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

※「一般選抜」及び「社会人特別選抜」のうち国際協力枠については別冊をご覧ください。

1 募集人員

環境共生学専攻

秋季募集 20名(一般選抜(国際協力枠を含む。)、社会人特別選抜(国際協力枠を含む。)、外国人留学生特別選抜の計)

春季募集 若干名(同上)

2 出願資格

次の(1)～(9)のいずれかに該当し、次ページの選抜区分別出願条件を満たす者。

- (1) 大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者(注1)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 令和7年3月までに次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者(春季募集のみ受付)(注2)
 - ① 大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者(春季募集のみ受付)(注3)

(注1) 上記(2)に該当する者とは、学位規則第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科を令和7年3月までに修了見込みの者で、該当者からの学士の学位の授与の申請を独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が受理したことについての証明書を提出できる者をいいます。

(注2) 上記(8)により出願する場合は、事前に出願資格審査を行いますので、「6 出願資格審査について」の要領で申請を行ってください。

ただし、有効期間内に出願資格審査結果を利用して出願する場合を除きます。

(注3) 上記(9)の対象となる方は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、学士の学位を有しない者」です。

該当者は、事前に出願資格審査を行いますので、「6 出願資格審査について」の要領で申請を行ってください。

ただし、有効期間内に出願資格審査結果を利用して出願する場合を除きます。

選抜区分別出願条件

一般選抜	特になし。
社会人特別選抜	令和7年4月1日現在、社会人経験が2年以上ある者。 なお、社会人経歴には、家事従事期間を含む。
外国人留学生特別選抜	日本国籍を有しない者。ただし、日本国に永住する許可を受けている者並びに留学生として日本の大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者を除く。

3 出願期間

(1) インターネットによる出願登録及び入学検定料支払期間

秋季募集 令和6年7月22日(月)から7月26日(金)16時59分まで

春季募集 令和7年1月6日(月)から1月10日(金)16時59分まで

※インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払だけでは出願は完了しません。秋季募集にあつては令和6年7月26日(金)17時まで、春季募集にあつては令和7年1月10日(金)17時までに出願書類の提出(必着のこと。)が併せて必要ですので、インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払は余裕をもって行ってください。

(2) 出願書類提出期間

秋季募集 令和6年7月22日(月)から7月26日(金)まで

春季募集 令和7年1月6日(月)から1月10日(金)まで

郵送、持参を問わず、**最終日の17時まで**に本学教務入試課に**必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

4 出願手続

(1) 出願方法

本学大学院入試ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>)にアクセスし、インターネット出願(インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出(郵送又は持参)する一連の手続となります。)により出願してください。出願に当たってはホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」により、出願方法に関する詳細を確認の上、行ってください。

インターネットによる出願登録の際は、指導希望教員を入力する欄があります。本募集要項、又は本学ホームページの研究者情報等を参考に、教務入試課を通じ、指導を希望する教員とあらかじめ相談の上、出願してください(入学後の実際の指導教員は、希望どおりにならない場合があります。)

秋季募集、春季募集いずれの場合も出願書類提出期間中に本学教務入試課入試班に到達していない出願書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、出願書類に不備がある場合も受理しません。

- ① 出願書類を郵送する場合は、『簡易書留・速達』によるものとし、秋季募集にあつては令和6年7月26日(金)17時まで、春季募集にあつては令和7年1月10日(金)17時までに**必着**するように発送してください。

郵便事情により出願期間終了後に配達されたものは、以下の(ア)から(ウ)までの条件の全てを満たす場合に限り受理します。

【出願期限後に配達された出願書類を受理する条件】

- (ア) 『簡易書留・速達』郵便で発送されていること。
- (イ) 秋季募集にあつては令和6年7月24日(水)まで、春季募集にあつては令和7年1月8日(水)までの消印があること。
- (ウ) 出願書類に不備がないこと。

② 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(2) 出願に必要な書類等

出 願 書 類 等		摘 要
出 願 書 類 等	入 学 検 定 料 (入学者選抜手数料)	30,000円(別途、支払手数料が必要です。) 支払方法は、本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」をご確認ください。
	入 学 志 願 票 (入 学 願 書)	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズ・横様式・カラーで印刷したものを提出してください。
	写 真 票	入学志願票と写真票は切り離さないでください(顔写真は、上記ガイドに記載の見本のとおりにご提出ください。)
	履 歴 書	履歴については、高等学校卒業以降(外国人留学生は、初等教育(小学校)入学以降)の学歴、職歴、研究業績、資格、賞罰等を出願サイトで入力してください。
	研 究 志 望 調 書	卒業論文等これまでの研究経過及び希望する研究テーマとその概要について1,200字程度にまとめたもの。 本学大学院入試ホームページから所定の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにA4サイズ(英語の場合は1枚程度)で印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。 【本学大学院入試ホームページ】 https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/
	成 績 証 明 書 (厳 封) ※5ページの2(8)(9)いずれかの出願資格により出願する者を除く。	出願資格に該当する最終出身学校作成のもの(学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。) ※日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。日本語訳を作成するために厳封を開封する場合は、あらかじめ本学教務入試課入試班(TEL 096-321-6610)にお問い合わせください。
	修 了 (卒 業) 証 明 書 または 同 見 込 証 明 書 ※5ページの2(8)(9)いずれかの出願資格により出願する者を除く。	出願資格に該当する最終出身学校作成のもの(学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。) ※日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。
	外 部 外 国 語 試 験 の 成 績 証 明 ※一般選抜のみ	下記(a)または(b)の写しを提出してください。また、提出した写しの原本を試験当日に持参してください。 なお、令和4年7月以降に実施された試験の成績が有効です。 (a) Official Score Certificate (TOEIC® Listening & Reading 公開テスト) (b) Score Report (TOEIC® IP テスト)

出願書類	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する証明書 ※該当者のみ	5 ページの2(2)の出願資格により出願する場合は、既に学位を授与された者については独立行政法人大学改革支援・学位授与機構発行の学位授与証明書、授与される見込みの者については、志願者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書及び独立行政法人大学改革支援・学位授与機構発行の学位授与申請受理証明書を提出してください。
	戸籍抄本 ※該当者のみ	改姓により、成績証明書や修了(卒業)証明書等に記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ提出してください。
	住民票 ※該当者のみ	市区町村で発行したもので、在留資格、在留期間が明記されているものに限り、 ※外国人留学生特別選抜の受験者で、日本に滞在中の方のみ提出してください。
	「出願資格認定通知」の写し等 ※該当者のみ	5 ページの2(8)(9)のいずれかの出願資格により出願する場合は、有効期間内の「出願資格認定通知」の写し並びに「成績証明書」及び「修了(卒業)証明書」を提出してください。 ※後述の「6 出願資格審査について」を参照してください。 ※出願資格審査結果(出願資格あり)の有効期間は5年間です。 ※出願資格審査を申請し、「出願資格あり」と認定された場合は、認定された時点の年度と同年度の出願に限り「成績証明書」「修了(卒業)証明書」の提出を省略することができます。
その他の	出願用封筒(角形2号封筒)	市販の角形2号封筒(A4サイズの書類が入る封筒)を用意してください。 インターネット出願サイトからダウンロードできる、下記「封筒貼付用宛名シート」及び「封筒貼付用出願書類チェックシート」を貼り付け、出願書類提出の際に出願書類を封入する封筒として使用してください。
	封筒貼付用宛名シート	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。 印刷後は、このシートを上記「出願用封筒」の表(おもて)面に貼り付けてください。
	封筒貼付用出願書類チェックシート	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。上記「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードする際に、併せてダウンロードすることができます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。 記載されている確認項目により出願書類に不足・不備がないことを確認した上で、チェック欄に「○」を記入し、上記「出願用封筒」の裏面に貼り付けてください。

(3) 注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入漏れ」、「誤記」等には十分注意してください。
- ② いったん受理した出願書類は、論文（原本を提出した場合）を除き、理由のいかんを問わずいっさい返却しません。
- ③ 既納の入学検定料は、次の(ア)から(ウ)までの場合を除き、理由のいかんを問わずいっさい返還しません。

(ア) 出願書類等を提出しなかった場合

(イ) 出願が受理されなかった場合

(ウ) 二重に支払った場合

※ (ア)から(ウ)までのいずれかの場合に該当し、返還を希望する者は、本学教務入試課入試班 (TEL 096-321-6610) に連絡の上、指定のあった書類を提出してください。

なお、返還額は、本学からの振込時の手数料を差し引いた額とします。

- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ (2)の出願書類等のうち、出願期間最終日の17時までに提出できない書類等がある場合は、出願期間最終日の2週間前までに(4)の問い合わせ先に問い合わせてください。

(4) 出願書類の提出（郵送）・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当

TEL 096-321-6610

(5) 受験票の準備

受験票は、デジタル受験票(受験者自身がインターネット出願サイトからダウンロードの上、印刷し、準備するもの)です。試験日の10日程度前に、ダウンロードできるようになります。ダウンロードしたデジタル受験票を、ページの拡大・縮小はせずに、A4サイズ・横様式・カラーで印刷の上、大切に保管し、試験当日に必ず持参してください。

なお、試験日の3日前となってもインターネット出願サイト上でデジタル受験票がダウンロードできない場合は、本学教務入試課入試班 (TEL 096-321-6610) まで問い合わせてください。

5 選抜方法

一般選抜

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、面接、外部外国語試験の成績及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査

専門科目……次の試験科目(①～⑫)の中からいずれか2科目を事前に選択し、インターネット出願手続の際に所定の欄に入力してください。当日は試験場にて、選択、入力した当該専門科目を解答してください。

なお、出願手続時に選択、入力した科目について、出願後の科目の変更は認めません。

学部における 関連科目等	環境資源学 関連科目群	居住環境学 関連科目群	食健康環境学 関連科目群
試験科目名	①海洋生態学 ②環境分析化学 ③大気環境学 ④沿岸海洋資源学 ⑤植物資源利用学 ⑥環境材料科学 ⑦水環境科学 ⑧環境教育* ⑨森林資源学	⑩建築環境工学 ⑪建築構造学 ⑫建築設計・住空間計画学 ⑬農村計画学 ⑭建築計画学 ⑮都市計画学	⑯栄養生化学 ⑰臨床栄養学 ⑱食品安全性学 ⑲食品分析学 ⑳食品微生物学 ㉑環境と生体適応 ㉒運動制御と発育発達 ㉓食品機能栄養学 ㉔栄養教育学 ㉕給食経営管理論

※ 試験科目⑧は、英語により実施します。

(2) 面接

研究志望調書の記入内容に関する口頭試問を含めて、面接を行います。

(3) 外部外国語試験(英語)

外部外国語試験として、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト及びTOEIC® IP テストを指定します。なお、令和4年7月以降に実施された試験の成績が有効です。

(4) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
秋季募集 令和6年8月24日(土)	専門科目	10:00～11:30	200	500
	面接	13:00～	100	
春季募集 令和7年2月8日(土)	外部外国語試験 (英語)	—	200 ※	

※ 外部外国語試験の点数は、本学の定める基準により換算します。

注) 1 受験者は、9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。

2 面接の時間は、当日学内に掲示します。

3 専門科目については、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。

4 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に掲載します。必ず確認してください。

(5) 試験場

熊本県立大学 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL 096-321-6610

(6) 大学院入試専門科目キーワード

熊本県立大学大学院環境共生学研究科博士前期課程では、開講される4分野でそれぞれ教育や研究を希望する学生を募集します。ただし、入学試験専門科目としては熊本県立大学環境共生学部での学部教育に基づく関連科目が設定されます。受験生は専門科目25科目の中から事前に2科目を試験科目として選び、インターネット出願手続の際に所定の欄に入力し、当日その問題を解答することになります。以下に、各専門科目の概要(熊本県立大学環境共生学部における教育内容)を理解していただくため、それぞれにキーワードを列挙しましたので参考にしてください。

環境資源学関連科目群：

①海洋生態学	沿岸閉鎖性水域、底生生物、干潟、一次生産、二次生産
②環境分析化学	化学物質、微量分析、微量汚染化学物質の環境動態、環境影響評価、高感度分析、環境毒性
③大気環境学	大気役割、大気の流れ、大気中の物質循環、大気汚染、浮遊粒子状物質、気候変動
④沿岸海洋資源学	海洋生態系、プランクトン、水産増養殖、海洋微生物、栄養塩、物質循環
⑤植物資源利用学	植物資源、植物生産、植物利用、植物と環境、人間と植物生産、農業と環境
⑥環境材料科学	高分子化学、セラミックス材料学、金属材料学、廃棄物処理、ライフサイクルアセスメント(LCA)
⑦水環境科学	水環境、水質汚濁、重金属、微量元素、汚染モニタリング、生体応答、リスク評価、感受性評価
⑧環境教育	持続可能な開発のための教育、エコソリズム、環境学習、グローバルコミュニケーション
⑨森林資源学	森林生態系、森林資源利用、生物多様性保全、植生、攪乱、生物学的侵入

居住環境学関連科目群：

⑩建築環境工学	温熱環境、光環境、音環境、空気環境、室内環境、都市環境
⑪建築構造学	構造力学、荷重・外力、許容応力度設計、鉄筋コンクリート構造、鋼構造
⑫建築設計・住空間計画学	建築論、空間美学、住空間デザイン、人間中心のデザイン、空間認知、空間評価、空間概念、空間論
⑬農村計画学	農山村地域、過疎、小規模集落、集落機能、多面的機能、農村景観、里づくり、地域再生、持続可能性
⑭建築計画学	住居・住環境計画、独立住宅・集合住宅、福祉居住環境、福祉のまちづくり、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、地域コミュニティ施設、ミュージアム、学校
⑮都市計画学	住みたい持続可能な都市づくり、中心市街地、商店街、コンパクトシティ、スプロール地、公共的空間、景観、ミクスドユース

食健康環境学関連科目群：

⑯栄養生化学	糖質・脂質・タンパク質・アミノ酸の代謝、細胞のシグナル伝達、器官の生化学
⑰臨床栄養学	生活習慣病(メタボリック症候群など)、動脈硬化、糖代謝、脂質代謝、インスリン抵抗性、糖尿病合併症
⑱食品安全性学	食品汚染物質、化学物質の生体影響、リスク分析、関連法規および制度
⑲食品分析学	二次機能、三次機能、食品成分の化学的性質・相互作用、一般成分分析、機器分析、品質管理
⑳食品微生物学	微生物の生理、微生物の物質代謝、微生物利用食品、食品の保存と微生物管理、微生物バイオテクノロジー、遺伝子組換え
㉑環境と生体適応	脳の可塑性、脳の健康、環境受容、ライフスタイル、運動と栄養、健康教育
㉒運動制御と発育発達	脳科学、バイオメカニクス、子ども、高齢者、運動機能、感覚機能
㉓食品機能栄養学	食品の三次機能、栄養素の体内代謝、生活習慣病、食事摂取基準
㉔栄養教育学	ヘルスプロモーション、行動科学の理論とモデル、行動変容技法と概念、食物へのアクセス、情報へのアクセス、栄養教育マネジメント
㉕給食経営管理論	マーケティング、栄養・食事管理、調理と嗜好性、調理と栄養、生産管理、給食のマネジメント

(7) 採点・評価基準

専門科目	専門分野に関する知識や考察力を評価します。
面接	今後の研究計画やこれまで行ってきた研究について説明を求め、意欲や能力を評価します。
外部外国語試験(英語)	英語の基礎的能力を評価します。

(8) 合格基準

- ① 総点の概ね6割以上を合格とします。
- ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
ただし、上記①または②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。

社会人特別選抜

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、面接及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査

専門科目……「5 選抜方法 一般選抜 (1) 学力検査 専門科目」の試験科目(①～⑤)の中からいずれか2科目を事前に選択し、インターネット出願手続の際に所定の欄に入力してください。当日は試験場にて、選択、入力した当該専門科目を解答してください。専門科目の選択の際は、大学院入試専門科目キーワードを参考にしてください。
なお、出願手続時に選択、入力した科目について、出願後の科目の変更は認めません。

(2) 面接

研究志望調書の記入内容に関する口頭試問を含めて、面接を行います。

(3) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
秋季募集 令和6年8月24日(土)	専門科目	10:00～11:30	100	200
春季募集 令和7年2月8日(土)	面接	13:00～	100	

- 注) 1 受験者は、9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。
2 面接の時間は、当日学内に掲示します。
3 専門科目については、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。
4 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に掲載します。必ず確認してください。

(4) 試験場

熊本県立大学 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL 096-321-6610

(5) 採点・評価基準

専門科目	専門分野に関する知識や考察力を評価します。
面接	今後の研究計画やこれまで行ってきた研究について説明を求め、意欲や能力を評価します。

(6) 合格基準

- ① 総点の概ね6割以上を合格とします。
- ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
ただし、上記①または②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。

外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、面接及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

- (1) 学力検査
英語（英文和訳）
- (2) 面接
研究志望調書の記入内容に関する口頭試問を含めて、面接を行います。
- (3) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
秋季募集 令和6年8月24日(土)	英語	10:00～11:30	100	200
春季募集 令和7年2月8日(土)	面接	13:00～	100	

- 注) 1 受験者は、9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。
 2 面接の時間は、当日学内に掲示します。
 3 英語については、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。
 4 試験当日の荒天（台風の接近等）が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ (<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>) に掲載します。必ず確認してください。

- (4) 試験場
熊本県立大学 熊本市東区月出3丁目1番100号 TEL 096-321-6610

- (5) 採点・評価基準

英語	専門分野に関する英語の基礎的能力を評価します。
面接	今後の研究計画やこれまで行ってきた研究について説明を求め、意欲や能力を評価します。

- (6) 合格基準
 - ① 総点の概ね6割以上を合格とします。
 - ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
ただし、上記①または②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。

6 出願資格審査について**■ 「2 出願資格(8)」により出願する場合**

- (1) 出願資格審査に必要な書類
 - ① 出願資格審査申請書（本研究科所定の様式）
 - ② 履歴書（本研究科所定の様式）
 - ③ 成績証明書（最終出身学校作成のもの及び現在在籍している学校作成のもので、総履修時間数も記載されているもの） ※厳封
 - ④ 在学証明書又は卒業（修了）証明書（最終出身学校作成のもの）
 - ⑤ 戸籍抄本（該当者のみ）
改姓により、③及び④に記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ添付してください。
 - ⑥ 返信用封筒（定形封筒（長形3号）に410円分の切手（速達料金含む。）を貼り、申請者の住所・氏名を明記してください。）
- ※①及び②の「本研究科所定の様式」は、本学ホームページに掲載のPDFまたはWordファイルを印刷（A4判、白紙に限ります。）したものを利用できます。
 本学ホームページ（大学院入試 環境共生学研究科）アドレス
<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/environmental-symbiosis/>

- (2) 審査方法
書類審査(上記(1)①～⑤による。)
- (3) 出願資格審査申請書類の提出期間
令和6年11月1日(金)から11月8日(金)まで
(注) 郵送、持参を問わず、最終日の17時までに本学教務入試課に必着とします。
持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。
郵送の場合は、『簡易書留・速達』により送付するものとし、封筒の表面に「**大学院環境共生学研究科(博士前期課程)春季入学出願資格審査申請書類在中**」と朱書きしてください。
(提出先)
〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当
- (4) 出願資格審査結果の通知
令和6年12月13日(金)までに本人宛てに通知します。

■ 「2 出願資格(9)」により出願する場合

- (1) 出願資格審査に必要な書類
- ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の様式)
 - ② 履歴書(本研究科所定の様式)
※研究に関連する資格を取得しているときは、資格を証明するもの(例えば、管理栄養師免許状の写し)を添付してください。
 - ③ 成績証明書(最終出身学校作成のもの及び現在在籍している学校作成のもので、総履修時間数も記載されているもの) ※厳封
 - ④ 卒業証明書(最終出身学校作成のもの)
 - ⑤ 研究志望調書(本研究科所定の様式)
これまでの研究経過または職務上の業績及び希望する研究テーマとその計画の概要等について記述した文書(1,200字程度)を提出してください。
なお、すでに論文や報告書などにまとめられたものがあれば、可能な限りで提出してください。
 - ⑥ 戸籍抄本(該当者のみ)
改姓により、③、④及び資格を証明するものに記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ添付してください。
 - ⑦ 返信用封筒(定形封筒(長形3号)に410円分の切手(速達料金含む。)を貼り、申請者の住所・氏名を明記してください。)
- ※①②及び⑤の「本研究科所定の様式」は、本学ホームページに掲載のPDFまたはWordファイルを印刷(A4判、白紙に限ります。)したものを利用できます。
本学ホームページ(大学院入試 環境共生学研究科)アドレス
<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/environmental-symbiosis/>
- (2) 審査方法
書類審査(上記(1)①～⑥による。)
- (3) 出願資格審査申請書類の提出期間
令和6年11月1日(金)から11月8日(金)まで
(注) 郵送、持参を問わず、最終日の17時までに本学教務入試課に必着とします。
持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。
郵送の場合は、『簡易書留・速達』により送付するものとし、封筒の表面に「**大学院環境共生学研究科(博士前期課程)春季入学出願資格審査申請書類在中**」と朱書きしてください。

(提出先)

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当

(4) 出願資格審査の結果の通知

令和6年12月13日(金)までに本人宛てに通知します。

7 合格発表

秋季募集 令和6年9月2日(月) 13時30分以降

春季募集 令和7年2月17日(月) 13時30分以降

本学ホームページ (<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送で通知します。なお、電話やメール等による問い合わせには応じません。

ただし、合格通知書の郵送をもって正式通知とします。

8 入学手続

入学手続として、インターネットによる入学手続情報登録及び入学金の支払の後、入学手続書類の提出(郵送又は持参)が必要です。

入学手続の詳細は、合格通知書とともに郵送する書面でお知らせします。

(1) 手続期間

秋季募集 令和6年9月9日(月)から9月13日(金)17時まで(必着)

春季募集 令和7年3月13日(木)から3月19日(水)17時まで(必着)

上記期間内に手続をしなかった場合は入学辞退とみなします。

(2) 提出書類

不備のないよう確認の上、次の書類を提出してください。

① 宣誓書(外国人留学生の場合は誓約書)

本学所定の様式(インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の誓約書の様式を使用してください。)

② 保証書・保証人(外国人留学生の方は日本国内在住の身元保証人)1名が必要です。

本学所定の様式(インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の様式を使用してください。)

③ 住民票

県内生については、入学者が生計を一にする世帯の主たる生計維持者及びその世帯全員の住民票が必要です(県外生は不要)。

(注) 県内生とは、入学者が生計を一にする世帯の主たる維持者が秋季募集にあつては令和6年9月13日の6ヶ月前(令和6年3月13日)、春季募集にあつては令和7年3月19日の6ヶ月前(令和6年9月19日)から引き続き熊本県内に住所を有する場合があります。外国人留学生の場合は、前述の期日から引き続き熊本県内に住所を有する者をいいます。

(3) 書類の提出方法

郵送又は持参によること。

① 秋季募集にあつては令和6年9月13日(金)17時まで、春季募集にあつては令和7年3月19日(水)17時までに到達していない入学手続書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。

② 郵送する場合は、『簡易書留・速達』によるものとし、手続期間中に必着するよう発送してください。

③ 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(4) 書類の提出(郵送)・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当
TEL 096-321-6610

(5) 入学金(令和6年度現行)

県内生 207,000円
県外生 414,000円

(注1) 本学学部を卒業し大学院に進学する場合は、大学院入学者の優遇措置として入学金が免除される場合があります。詳細は「9 本学学部卒業生の大学院入学者への優遇措置(入学金免除制度)について」をご覧ください。

(注2) 入学手続後、やむを得ず入学を辞退する場合は、必ず、令和7年3月21日(金)までに教務入試課入試班に連絡してください(「入学辞退届」を提出していただきます。)

なお、納められた入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

9 本学学部卒業生の大学院入学者への優遇措置(入学金免除制度)について

本学出身の若手研究者の育成に資するため、本学学部を卒業し引き続き本学大学院(博士前期課程)へ入学を希望する者で、下記の(1)から(3)までの条件の全てを満たす者については入学金を全額免除します。

- (1) 入学時点で本学の学部を卒業して1年未満の者(卒業見込みの者を含む。)であること。
- (2) 本学大学院の博士前期課程の入学試験に合格し入学しようとする者であること。
- (3) 3年次までの累積GPAが3.0以上であること。

10 授業料(令和7年度予定)

年額 535,800円(各期267,900円×2期)

(注)在学中に授業料額及び納付期日等が改定された場合には、改定時から適用されます。

11 成績の情報提供(開示)について

(1) 提供する情報

得点 各試験科目等の総得点

順位 不合格者のみの情報提供で、不合格者が10名以上の場合に限りランクを表示します。

ランクは、不合格者を成績順に3ランク(上位1/3がA、中位1/3がB、下位1/3がC)に区分して表示します。

(2) 情報提供期間及び時間

秋季募集 令和6年9月5日(木)から10月4日(金)まで

春季募集 令和7年2月20日(木)から3月19日(水)まで

取扱時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、土曜日、日曜日及び祝日は受付・情報提供を行っていません。

(3) 提供依頼方法及び場所

入学試験を受験した本人が、熊本県立大学に来学の上、教務入試課窓口にて口頭で情報提供希望を申し出てください(代理人への情報提供はできません)。

なお、本人確認のため、本学大学院受験票を持参してください。受験票を紛失した場合は、お問い合わせください。

12 個人情報の取扱いについて

出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正な管理を行っております。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

なお、受験者本人から入学試験成績等の開示請求があったときは、個人情報の保護に関する法律等に基づき開示することになります。

13 その他注意事項

障がい等により受験及び修学に際して合理的配慮を希望する者は、事前に本学教務入試課入試班（096-321-6610）に相談の上、指示のあった書類を次に掲げる期日までに提出してください。

秋季募集 令和6年7月22日（月）

春季募集 令和7年1月6日（月）

環境共生学研究科（博士前期課程）のご案内

1 教育課程の編成

環境共生学研究科の理念及び人材養成の目標を実現するために、本研究科の教育課程は、次の4つの分野で編成されています。

- | | |
|------------|-------------|
| A 環境科学分野 | B 空間システム学分野 |
| C 栄養・健康学分野 | D 地域資源活用学分野 |

2 標準修業年限 2年

3 昼夜開講制の実施

社会の激変化、科学技術の急速な進歩に伴い、新たな専門知識、最新技術の修得の必要性が高まり、社会人の間では再教育に対する期待が増大しています。そこで社会人の受入を積極的に進めていくため、昼夜開講制を実施しています。

4 長期履修制度の実施

社会人の様々な学習需要に対応するために、長期履修制度を導入しています。この制度は、職業を有している、あるいは育児、長期介護等のために、年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動への時間数が限られるため、標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

入学者選抜試験前であっても、この制度について質問などがある場合は、教務入試課 教務班（TEL 096-321-6609）に御相談ください。

(1) 対象となる方

- ① 職業を有し、標準修業年限2年で修了することが困難な方
- ② その他、長期履修が必要となる相当の理由がある方

(2) 修業年限

最長4年までの範囲内で認められた年限

(3) 授業料

標準の修業年限に支払うべき授業料総額（博士前期課程では2年間分）を、あらかじめ認められた修業年限で除いた額をそれぞれの年（納期）に支払うことになります。

(4) 申請手続及び長期履修の許可

申請を希望する場合は、指導教員に相談の上、申請書を教務入試課に提出してください。申請に対し、標準修業年限で修了することが困難であると認められた方について、長期履修が許可されます。また、新入生だけでなく、入学後に学習環境が変化した学生も長期履修を申請することができます。

〔申請書類に添付する証明書等〕

- ・勤務状況を証明するものや、内定通知書等の写し。
- ・育児・介護の必要性を証明するもの（例えば、母子健康手帳の写しや介護保険被保険者証などの写し）。
- ・その他長期履修が必要であることを証明するもの。

(5) 申請後の変更

在学中1回に限り可能

大学院研究科(春季入学)入試状況(志願者数～入学者数)

研究科	日程	定員	選抜区分	R4年度				R5年度				R6年度			
				志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者
環境共生学 研究科 (博士前期課程)	春季入学 (秋季募集)	20名	一般	9	9	9	9	10	10	9	8	10	10	10	
			社会人					1	1	1	0				
			外国人												
	春季入学 (春季募集)	若干名	一般	4	4	4	4	4	3	3	3	1	1	1	
			社会人	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	
			外国人	1	1	1	1								
	秋春計	20名	一般	13	13	13	13	14	13	12	11	11	11	11	
			社会人	1	1	1	1	3	3	3	2	3	3	3	
			外国人	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	合計			15	15	15	15	17	16	15	13	14	14	14	

研究分野の特色

A 環境科学分野

人口の増加と科学技術の進展に伴い、人間活動が増大し、大量の資源消費、化学物質等の環境中への放出等による環境負荷が増大し、地球環境に対して悪影響を及ぼしている。また、人間が健康で安全な生活をしていくためには、良好な地球環境を維持していく必要がある。環境負荷は人間への直接的な健康影響のみならず、湖沼や内湾などの閉鎖系水域や森林などへ不可逆的な影響を与えるため、化学物質の大気、水質、土壌等における現状とその挙動、生態への影響について理解する必要がある、環境分析化学的な調査研究に加え、生態への影響評価、地球物理学的な解析研究が必要である。

一方、地球上には多種多様な生物が生息し、複雑な生態系を構築している。生態系は微妙なバランスの上に成り立っており、生態系を理解することは、地球環境保全のためには重要なことであり、生態系は資源の供給源でもあることから、環境資源の保全という点でも極めて重要である。このような生態系における生物挙動、機能と構造、物質循環等を解明し、影響低減と利活用のための環境技術について教育研究することは、不知火海、有明海等の広大な沿岸域と阿蘇山地や九州山地といった山林域を抱える熊本県にとって、環境保全および農林水産業の振興という観点からきわめて重要である。

B 空間システム学分野

持続可能な開発と地域コミュニティの再生は、現在の私たちが取り組むべき非常に大きな課題である。様々な建築物を含む私たちの生活空間の中には、これらの問題を解決するための多くの貴重な教訓が含まれている。一方で、環境と共生するための環境工学や建築技術の研究は、日進月歩の勢いで進んでいる。そこで、生活空間の歴史的な教訓を地球規模で学びつつ、最新の環境工学・建築技術との融合を図ることにより、環境と共生した、かつ地域コミュニティの形成に資するような生活空間の維持・創造の方法を追求する。

熊本県内には、熊本市のような大都市から人口数万規模の中小都市まで多様な都市空間が存在し、さらに背後には広大な農山村が控えている。これらのいずれの空間も、商店街の衰退、交通渋滞、田畑・森林の荒廃など、深刻かつ様々な問題を抱えている。こうした問題を教育の中で取り上げるとともに、環境工学、建築技術・計画、農村・都市計画などの分野の有機的な連携の下に、現実的な解決策を積極的に提言していくことをめざす。

C 栄養・健康学分野

人は外部環境の変化に応じて、代謝調節機構によって内部環境が変化し、恒常性を維持することで正常な生命活動を営んでいる。すなわち、種々の生活・環境要因によって代謝が調節を受け、健康状態にさまざまな影響を与えている。現在、生活様式の多様化や少子高齢化などにより生活環境が大きく変化してきている。特に熊本県は、全国有数の長寿県であるが、高齢者の生活の質の維持・向上には「生き甲斐のある健康づくり」がきわめて重要で、質の高い栄養・健康環境の構築には、適正な食生活とともに適度な身体活動が必要である。例えば、高齢者の健康を脅かすものに生活習慣病や虚弱（フレイルティ）があるが、これらの要因や一次予防法を医学的、栄養学的、運動生理学的観点から究明することはきわめて重要である。

栄養・健康科学分野では食生活や身体活動を介した健康維持増進と疾病予防に関わる高度な教育研究を行い、高度な専門的研究者を養成する。また一方で、大学院で培われた高度な技術を社会に還元することが重要であり、そのためには、特に地域住民の健康増進と地域社会の環境向上のために貢献できる実践的専門家の養成を行う。

D 地域資源活用学分野

安全な食糧の安定供給ならびに循環型・環境保全型の食糧生産技術の構築は人類の最重要課題の一つである。この課題解決のためには、国際的なレベルで資源利用についての社会変革が求められる一方で、地域レベルでも取り組みを進め、地域での資源循環システムを構築することが必要となる。地域資源活用学分野では環境資源、居住環境、食健康環境の3つの視点を融合し、地域資源を持続的に活用していくための教育研究を行う。

たとえば、地域の農林水産業の活性化に関する教育研究、有用微生物を活用した食糧生産技術・環境保全技術の開発・研究や高い生物生産力を持つ海洋生態系の構造と機能の解明は、持続的な農林水産資源利用のあり方を示し、未利用資源の活用につながる。また、新規食資源の開発や食品創製の教育研究は食糧資源の有効利用や食糧廃棄の低減をもたらし、食糧生産を側面的に支援するとともに、食糧生産に伴う環境負荷を低下させる上で重要な意義を持つ。さらに、食品のもつ恒常性の維持増進機能（機能性）に関する研究と健康維持への利用は食品の付加価値を高め、農林水産資源の有効活用につながる。一方、多種多様な化学物質の氾濫、世界的規模でおこなわれている食糧の流通を考えると、食品の安全性に関する教育研究は必須である。また、農山漁村地域の地域資源を地域の住民や企業とともに発掘し、それを磨き、活用していくことは、そのプロセス自体が地域活性化に向けた方策となる。

このように、本分野では環境保全型の農水産業の推進・振興、地域食品産業の活性化、農山漁村地域における地域資源を活かした地域づくり、農地の保全・利活用といった観点から、地域資源を活用し資源循環システムを構築するための方策を科学的・学術的に研究教育する。

教 員 一 覧

令和7年度予定

研究分野※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
A 環境科学分野	教 授	阿 草 哲 郎	大気・水系環境科学特論 化学物質精密計測学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	石 橋 康 弘	環境材料科学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	小 林 淳	大気・水系環境科学特論 環境物質動態学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	張 代 洲	大気・水系環境科学特論 大気物質循環論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	小森田 智大	大気・水系環境科学特論 沿岸生態学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	斎 藤 達 也	森林生態学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
B 空間システム学分野	教 授	高 橋 浩 伸	共生住空間論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	辻原 万規彦	パッシブ環境調整工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	李 麗	空間構造論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	佐 藤 哲	建築計画学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	鄭 一 止	共生都市空間論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
		(選考中)	木質構造設計論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
		(選考中)	人体適応工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ

※1 「研究分野の特色」を参照

教 員 一 覧

令和7年度予定

研究分野※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
C 栄養・健康学分野	教 授	青 木 朋 子	発育発達運動環境論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	下 田 誠 也	臨床機能栄養学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 本 直 幸	環境人間工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	坂 本 達 昭	健康栄養管理学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	中 嶋 名 菜	栄養・健康学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	吉 田 卓 矢	栄養生理学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
D 地域資源活用学分野	教 授	一 宮 睦 雄	沿岸海洋資源学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	柴 田 祐	農山村域環境ストック論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	白 土 英 樹	食品機能分析学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	友 寄 博 子	栄養機能化学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 崎 弘 美	応用微生物学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 添 直 隆※2	植物資源利用学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	阿 南 弥 寿 美	食資源安全性論 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ

※1 「研究分野の特色」を参照

※2 令和8年3月退職予定

教 員 一 覧

令和7年度予定

研究分野※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
その他	環境共生学研究科長		環境共生学特論
	教 授	モロー ジェフリー スチュワート	環境共生学演習 I、II
	教 授 (本学総合管理学部)	井 田 貴 志	環境共生学特論
	准教授	田 尻 美 千 子	環境共生学特論
	連携教授 (国立水俣病総合研究センター)	山 元 恵	環境共生学特論
	連携教授 (国立水俣病総合研究センター)	吉 野 健 児	環境共生学特論
	教 授	石 村 秀 登	教職実践研究 I、II
		未 定	家庭科教育特論
	非常勤講師	吉 村 英 一	栄養制御学

※1 「研究分野の特色」を参照

(注) カリキュラム(教育課程)、シラバス(授業内容)については本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)をご覧ください。

研究志望調書〔博士前期課程〕【春季入学】

受験者氏名： _____

[テーマ]

[概要] (1,200字程度)

- ※1 横書きとしてください。
- ※2 ワードプロ使用、手書きのどちらでもかまいません。
- ※3 この様式は本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

出願資格審査申請書

令和 年 月 日

熊本県立大学大学院
環境共生学研究科長

様

(申請者)

フリガナ

氏 名

生年月日

【 西暦・昭和・平成 】(※該当するものに○をつけること。)

年 月 日 (歳)

連絡先住所

〒

電話番号 ()

携帯番号 ()

令和7年度(2025年度)熊本県立大学大学院環境共生学研究科(博士前期課程)【春季入学】に出願したいので、個別の出願資格審査を申請します。

履 歴 書

学 歴		※中学校卒業以降を記入。 ※外国人留学生は初等教育(小学校)入学以降を記入。
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
職 歴		
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
研究業績、資格、賞罰		
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	

※ この様式は本学ホームページ「入試情報(大学院)」から印刷可能です。

博士後期課程

令和7年度(2025年度)熊本県立大学大学院 環境共生学研究科 (博士後期課程) 【春季入学】

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

1 募集人員

環境共生学専攻 春季募集3名 (一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計)

2 出願資格

次の(1)～(6)のいずれかに該当し、下記の選抜区分別出願条件を満たす者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号) (注)
- (6) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者 (注)

(注) 上記(5)(6)により出願する場合は、事前に出願資格審査を行いますので、「6 出願資格審査について」の要領で申請を行ってください。

ただし、有効期間内の出願資格審査結果を利用して出願する場合を除きます。

選抜区分別出願条件

一般選抜	特になし。
社会人特別選抜	令和7年4月1日現在、社会人経験が2年以上ある者。 なお、社会人経歴には、家事従事期間を含む。また、出願資格(1)～(4)の各号に該当する者は学位取得後の年数とする。
外国人留学生特別選抜	日本国籍を有しない者。ただし、日本国に永住する許可を受けている者並びに留学生として日本の大学の修士の学位または専門職学位を有する者及び令和7年3月までに取得見込みの者を除く。

3 出願期間

- (1) インターネットによる出願登録及び入学検定料支払期間

令和7年1月 6日(月) から1月10日(金) 16時59分まで

※インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払だけでは出願は完了しません。令和7年1月10日(金) 17時までに**出願書類の提出(必着のこと。)**が併せて必要ですので、インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払は余裕をもって行ってください。

- (2) 出願書類提出期間

令和7年1月 6日(月) から1月10日(金) まで

郵送、持参を問わず、**最終日の17時までに本学教務入試課に必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

4 出願手続

(1) 出願方法

本学大学院入試ホームページ (<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/>) にアクセスし、インターネット出願(インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出(郵送又は持参)する一連の手続となります。)により出願してください。出願に当たってはホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」により、出願方法に関する詳細を確認の上、行ってください。

インターネットによる出願登録の際は、指導希望教員を入力する欄があります。本募集要項、又は本学ホームページの研究者情報等を参考に、教務入試課を通じ、指導を希望する教員とあらかじめ相談の上、出願してください(入学後の実際の指導教員は、希望どおりにならない場合があります。)

令和7年1月10日(金)17時までに本学教務入試課入試班に到達していない出願書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、出願書類に不備がある場合も受理しません。

① 出願書類を郵送する場合は、『簡易書留・速達』によるものとし、令和7年1月10日(金)17時までに必着するように発送してください。

郵便事情により出願期間終了後に配達されたものは、以下の(ア)から(ウ)までの条件の全てを満たす場合に限り受理します。

【出願期限後に配達された出願書類を受理する条件】

- (ア) 『簡易書留・速達』郵便で発送されていること。
- (イ) 令和7年1月8日(水)までの消印があること。
- (ウ) 出願書類に不備がないこと。

② 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、出願期間に土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(2) 出願に必要な書類等

出 願 書 類 等		摘 要
出 願 書 類 等	入 学 検 定 料 (入学者選抜手数料)	30,000円(別途、支払手数料が必要です。) 支払方法は、本学大学院入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」をご確認ください。
	入 学 志 願 票 (入 学 願 書)	入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズ・横様式・カラーで印刷したものを提出してください。
	写 真 票	入学志願票と写真票は切り離さないでください(顔写真は、上記ガイドに記載の見本のとおり撮ってください。)
	履 歴 書	履歴については、高等学校卒業以降(外国人留学生は、初等教育(小学校)入学以降)の学歴、職歴、研究業績、資格、賞罰等を出願サイトで入力してください。
	研 究 志 望 調 書	本学大学院入試ホームページから所定の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。 【本学大学院入試ホームページ】 https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/ ● 【一般選抜・外国人留学生特別選抜】 修士論文等これまでの研究経過の概要及び希望する研究の計画について、1,200字程度にまとめたもの ※英語の場合はA4判1枚程度

出 願 書 類		<p>● [社会人特別選抜]</p> <p>修士論文等あるいは社会活動等の概要及び希望する研究の計画について、1,200字程度にまとめたもの</p>
	成績証明書（厳封） ※31ページの2(5)(6)いずれかの出願資格により出願する者を除く。	<p>出願資格に該当する最終出身学校作成のもの（学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。）。</p> <p>※日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。日本語訳を作成するために厳封を開封する場合は、あらかじめ本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に問い合わせてください。</p>
	修了（卒業）証明書 または同見込証明書 ※31ページの2(5)(6)いずれかの出願資格により出願する者を除く。	<p>出願資格に該当する最終出身学校作成のもの（学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限ります。）。</p> <p>※日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。</p>
	戸籍抄本 ※該当者のみ	<p>改姓により、成績証明書や修了（卒業）証明書等に記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ提出してください。</p>
	住民票 ※該当者のみ	<p>市区町村で発行したもので、在留資格、在留期間が明記されているものに限り提出してください。</p> <p>※外国人留学生特別選抜の受験者で、日本に滞在中の方のみ提出してください。</p>
	「出願資格認定通知」の写し等 ※該当者のみ	<p>31ページの2(5)(6)のいずれかの出願資格により出願する場合は、有効期間内の「出願資格認定通知」の写し並びに「成績証明書」及び「修了（卒業）証明書」を提出してください。</p> <p>※後述の「7 出願資格審査について」を参照してください。</p> <p>※出願資格審査結果（出願資格あり）の有効期間は5年間です。</p> <p>※出願資格審査を申請し、「出願資格あり」と認定された場合は、認定された時点の年度と同一年度の出願に限り「成績証明書」「修了（卒業）証明書」の提出を省略することができます。</p>
そ の 他	出願用封筒 (角形2号封筒)	<p>市販の角形2号封筒（A4サイズの書類が入る封筒）を用意してください。</p> <p>インターネット出願サイトからダウンロードできる、下記「封筒貼付用宛名シート」及び「封筒貼付用出願書類チェックシート」を貼り付け、出願書類提出の際に出願書類を封入する封筒として使用してください。</p>
	封筒貼付用宛名シート	<p>入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。</p> <p>印刷後は、このシートを上記「出願用封筒」の表（おもて）面に貼り付けてください。</p>
	封筒貼付用出願書類 チェックシート	<p>入学検定料支払完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。上記「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードする際に、併せてダウンロードすることができます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。</p> <p>記載されている確認項目により出願書類に不足・不備がないことを確認した上で、チェック欄に「○」を記入し、上記「出願用封筒」の裏面に貼り付けてください。</p>

(3) 注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入漏れ」、「誤記」等には十分注意してください。
- ② いったん受理した出願書類は、論文（原本を提出した場合）を除き、理由のいかんを問わずいっさい返却しません。
- ③ 既納の入学検定料は、次の(ア)から(ウ)までの場合を除き、理由のいかんを問わずいっさい返還しません。
 - (ア) 出願書類等を提出しなかった場合
 - (イ) 出願が受理されなかった場合
 - (ウ) 二重に支払った場合
 ※ (ア)から(ウ)までのいずれかの場合に該当し、返還を希望する者は、本学教務入試課入試班 (TEL 096-321-6610) に連絡の上、指定のあった書類を提出してください。
 なお、返還額は、本学からの振込時の手数料を差し引いた額とします。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ (2)の出願書類等のうち、出願期間最終日の17時までに提出できない書類等がある場合は、出願期間最終日の2週間前までに(4)の問い合わせ先に問い合わせてください。

(4) 出願書類の提出（郵送）・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
 熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当
 TEL 096-321-6610

(5) 受験票の準備

受験票は、デジタル受験票(受験者自身がインターネット出願サイトからダウンロードの上、印刷し、準備するもの)です。試験日の10日程度前に、ダウンロードできるようになります。ダウンロードしたデジタル受験票を、ページの拡大・縮小はせずに、A4サイズ・横様式・カラーで印刷の上、大切に保管し、試験当日に必ず持参してください。

なお、試験日の3日前となってもインターネット出願サイト上でデジタル受験票がダウンロードできない場合は、本学教務入試課入試班 (TEL 096-321-6610) まで問い合わせてください。

5 選抜方法

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 共通

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、口頭試問及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査

英語

(2) 口頭試問

① [一般選抜・外国人留学生特別選抜]

修士論文(途中経過を含む。)あるいはその他の研究成果の発表と、発表内容に関連する口頭試問を行います(発表内容には、これまでの研究経過と、博士後期課程で実施を希望する研究の計画を含むこと)。

② [社会人特別選抜]

修士論文等の研究成果、あるいは社会活動に関する発表と、発表内容に関連する口頭試問を行います(発表内容には、これまでの研究経過、社会人としての実務及び活動内容、博士後期課程で実施を希望する研究の計画を含むこと)。

(3) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
令和7年2月11日(火・祝)	英語	10:00～11:30	100	200
	口頭試問 (研究発表を含む。)	13:00～	100	

- 注) 1 受験者は、9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。
 2 口頭試問の時間は、当日学内に掲示します。
 3 英語については、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。
 4 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ(<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に掲載します。必ず確認してください。

(4) 試験場

熊本県立大学 熊本市東区月出3丁目1番100号
 TEL 096-321-6610

(5) 口頭試問について

- ① 修士論文(途中経過を含む。)あるいはそれ以外の研究に関する口頭発表 15分
 ② 発表内容に関する質疑応答(各研究分野の専門に関する質問を含む。) 10分
 ③ 発表は液晶プロジェクターを用いる。発表会場には液晶プロジェクター本体のみを用意するので、必要な機器(パソコン)及びコネクター等については各自で持参すること(使用するスライド等の枚数に制限は加えない。)

なお、本学で用意するプロジェクターの接続端子は、HDMI(タイプA・標準サイズ)です。

(6) 採点・評価基準

英語	専門分野に関する英語の能力を評価します。
口頭試問	これまで行ってきた研究や研究計画について説明を求め、専門分野に関する知識や考察力、意欲や研究遂行能力などを評価します。

(7) 合格基準

- ① 総点の概ね6割以上を合格とします。
 ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
 ただし、上記①または②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。

6 オンラインによる受験について(外国人留学生特別選抜に限る。)

- (1) オンラインによる試験を希望する海外在住の出願者が1人でもいる場合は、全ての出願者について、インターネット環境によりビデオ会議機能をもつアプリケーションを活用して「口頭試問」を実施することとします。オンラインによる試験を希望する出願者は、出願期間中にその旨を本学教務入試課入試班に申し出てください。
 (2) オンラインによる試験を実施する場合は、出願期間終了後速やかに本学教務入試課入試班から全ての出願者に連絡します。
 (3) この場合は、試験科目「英語」については、「口頭試問」を英語で行い、面接者が専門分野に関する英語の能力を評価し、採点します。
 (4) 試験日は2月11日(火・祝)とし、試験時間は出願者の居住する国の現地時間等を考慮し設定するものとします。

なお、試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。

(5) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
令和7年2月11日 (火・祝)	口頭試問 (研究発表を含む。)	開始から25分 (開始時間は別途通知。)	100	200
	英語 (口頭試問を英語で行う。)		100	

7 出願資格審査について

■ 「2 出願資格(5)(6)」のいずれかにより出願する場合

(1) 出願資格審査に必要な書類

- ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の様式)
- ② 履歴書(本研究科所定の様式)
- ③ 成績証明書(最終出身学校作成のもの及び現在在籍している学校作成のもので、総履修時間数も記載されているもの) ※厳封
- ④ 修了(卒業)証明書(最終出身学校作成のもの)
- ⑤ 研究、教育、職務、社会活動等の実績(本研究科所定の様式)
これまでの研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧を提出してください。
また、すでに論文や報告書などにまとめられたものがあれば、別刷(コピー可)を提出してください。
- ⑥ 研究志望調書(本研究科所定の様式)
希望する特別研究の概要について記述した文書(1,200字程度)を提出してください。
- ⑦ 戸籍抄本(該当者のみ)
改姓により、③及び④に記載されている氏名が、現在の氏名と異なる方のみ添付してください。
- ⑧ 返信用封筒(定形封筒(長形3号)に410円分の切手(速達料金含む。)を貼り、申請者の住所・氏名を明記してください。)

※①②及び⑤⑥の「本研究科所定の様式」は、本学ホームページに掲載のPDFまたはWordファイルを印刷(A4判、白紙に限ります。)したものを利用できます。

本学ホームページ(大学院入試 環境共生学研究科)アドレス

<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination-graduate/environmental-symbiosis/>

(2) 審査方法

書類審査(上記(1)①～⑦による。)

(3) 出願資格審査申請書類の提出期間

令和6年11月1日(金)から11月8日(金)まで

(注) 郵送、持参を問わず、最終日の17時までには本学教務入試課に必着とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

郵送の場合は、『簡易書留・速達』により送付するものとし、封筒の表面に「大学院環境共生学研究科(博士後期課程)春季入学出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

(提出先)

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当

(4) 出願資格審査の結果の通知

令和6年12月13日(金)までに本人宛てに通知します。

8 合格発表

令和7年2月17日(月) 13時30分以降

本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送で通知します。なお、電話やメール等による問い合わせには応じません。

ただし、合格通知書の郵送をもって正式通知とします。

9 入学手続

入学手続として、インターネットによる入学手続情報登録及び入学金の支払の後、入学手続書類の提出(郵送又は持参)が必要です。

入学手続の詳細は、合格通知書とともに郵送する書面でお知らせします。

(1) 手続期間

令和7年3月13日(木)から3月19日(水)17時まで(必着)

上記期間内に手続をしなかった場合は入学辞退とみなします。

(2) 提出書類

不備のないよう確認の上、次の書類を提出してください。

① 宣誓書(外国人留学生の場合は誓約書)

本学所定の様式(インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の誓約書の様式を使用してください。)

② 保証書・保証人(外国人留学生の方は日本国内在住の身元保証人)1名が必要です。

本学所定の様式(インターネットによる入学手続情報登録後に様式をダウンロードできます。ただし、外国人留学生の方はダウンロードせず、本学ホームページに掲載される外国人留学生用の様式を使用してください。)

③ 住民票

県内生については、入学者が生計を一にする世帯の主たる生計維持者及びその世帯全員の住民票が必要です。(県外生は不要)。

(注) 県内生とは、入学者が生計を一にする世帯の主たる維持者が令和7年3月19日の6ヶ月前(令和6年9月19日)から引き続き熊本県内に住所を有する場合をいいます。

外国人留学生の場合は、前述の期日から引き続き熊本県内に住所を有する者をいいます。

(3) 書類の提出方法

郵送又は持参によること。

① 令和7年3月19日(水)の17時までに到達していない入学手続書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。

② 郵送する場合は、『簡易書留・速達』によるものとし、手続期間中に必着するよう発送してください。

③ 持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く)。また、土曜日、日曜日、祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行っていません。

(4) 書類の提出(郵送)・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学教務入試課入試班 大学院入試担当

TEL 096-321-6610

(5) 入学金(令和6年度現行)

県内生 207,000円

県外生 414,000円

(注1) 本学大学院環境共生学研究科の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する場合は不要です。

(注2) 入学手続後、やむを得ず入学を辞退する場合は、必ず、令和7年3月21日(金)までに教務入試課入試班に連絡してください(「入学辞退届」を提出していただきます。)

なお、納められた入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

10 授業料 (令和7年度予定)

年 額 535,800 円 (各期 267,900 円×2期)

(注)在学中に授業料額及び納付期日等が改定された場合には、改定時から適用されます。

11 成績の情報提供(開示)について

(1) 提供する情報

得 点 各試験科目等の総得点

順 位 不合格者のみの情報提供で、不合格者が10名以上の場合に限りランクを表示します。

ランクは、不合格者を成績順に3ランク(上位1/3がA、中位1/3がB、下位1/3がC)に区分して表示します。

(2) 情報提供期間及び時間

令和7年2月20日(木)から3月19日(水)まで

取扱時間は、9時から17時までとします(ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。)。また、土曜日、日曜日及び祝日は受付・情報提供を行っていません。

(3) 提供依頼方法及び場所

入学試験を受験した本人が、熊本県立大学に来学の上、教務入試課窓口にて口頭で情報提供希望を申し出てください(代理人への情報提供はできません)。

なお、本人確認のため、本学大学院受験票を持参してください。受験票を紛失した場合等はお問い合わせください。

12 個人情報の取扱いについて

出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正な管理を行っています。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

なお、受験者本人から入学試験成績等の開示請求があったときは、個人情報の保護に関する法律等に基づき開示することになります。

13 その他注意事項

障がい等により受験及び修学に際して合理的配慮を希望する者は、令和7年1月6日(月)までに本学教務入試課入試班(096-321-6610)に相談の上、指示のあった書類を提出してください。

環境共生学研究科（博士後期課程）のご案内

1 教育課程の編成

環境共生学研究科の理念および人材養成の目標を実現するために、本研究科の教育課程は、次の3つの特別演習と1つの特別研究で編成されています。

特別演習	生態系環境共生 特別演習	水圏、地圏、大気圏を含めた生態系における物質動態、相互影響に関連する研究手法を修得し、持続的かつ高い生物生産体系、生物多様性、生態系の保全管理手法などの理解をめざし、複数のテーマから一題材を選択し履修する。
	居住系環境共生 特別演習	地球上で人が住まうという行為「居住」を幅広くとらえて、自然・社会と共生する居住環境とは何かの意味を考察すると共に、自然・社会との共生を実現するための具体的な手法の修得をめざし、複数のテーマから一題材を選択し履修する。
	食健康系環境共生 特別演習	環境共生の視点から、食資源の重要性と種々の食・健康環境要因を総合的に理解し、人々の健康の維持・向上と疾病の予防を図りながら循環型社会を構築するための演習を行う。具体的な手法の修得をめざし、複数のテーマから一題材を選択し履修する。
特別研究	<p>高度に専門化した特定の研究課題を環境共生学の視点から選び、実験、調査、解析などを通して博士論文の作成を指導する。</p> <p>研究1：海の生態・環境保全に関する研究 研究2：未利用資源を用いた資源循環・エネルギー生成に関する研究 研究3：大気・水中物質の挙動に関する研究 研究4：食と植物生産と環境に関する研究 研究5：建築構造物の安全性に関する研究 研究6：農山村地域の持続に関する研究 研究7：環境に配慮した居住環境に関する研究 研究8：食品の安全性の分析・評価に関する研究 研究9：食品の嗜好性ならびに機能性の分析・評価に関する研究 研究10：食と健康の生理・生化学・管理に関する研究 研究11：食と健康と環境に関する応用微生物学的研究 研究12：食と健康に関する臨床医学的研究</p>	

2 標準修業年限 3年

3 昼夜開講制の実施

社会人の間には新しい専門知識の修得の必要性が高まり、高度なリカレント教育への期待が増大していることから、社会人を受け入れる昼夜開講制を実施しています。特に博士後期課程では、特別研究の授業は（社会人の場合は指導研究も）、原則として夜間（18：00～21：10）の時間帯に行われます。

4 長期履修制度の実施

社会人の様々な学習需要に対応するために、長期履修制度を導入しています。この制度は、職業を有している、あるいは育児、長期介護等のために、年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動への時間数が限られるため、標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

入学者選抜試験前であっても、この制度について質問などがある場合は、教務入試課 教務班 (TEL 096-321-6609) に御相談ください。

(1) 対象となる方

- ① 職業を有し、標準修業年限3年で修了することが困難な方
- ② その他、長期履修が必要となる相当の理由がある方

(2) 修業年限

最長6年までの範囲内で認められた年限

(3) 授業料

標準の修業年限に支払うべき授業料総額(博士後期課程では3年間分)を、あらかじめ認められた修業年限で除いた額をそれぞれの年(納期)に支払うこととなります。

(4) 申請手続及び長期履修の許可

申請を希望する場合は、指導教員に相談の上、申請書を教務入試課に提出してください。申請に対し、標準修業年限で修了することが困難であると認められた方について、長期履修が許可されます。また、新入生だけでなく、入学後に学習環境が変化した学生も長期履修を申請することができます。

[申請書類に添付する証明書等]

- ・勤務状況を証明するものや、内定通知書等の写し。
- ・育児・介護の必要性を証明するもの(例えば、母子健康手帳の写しや介護保険被保険者証などの写し)。
- ・その他長期履修が必要であることを証明するもの。

(5) 申請後の変更

在学中1回に限り可能

大学院研究科(春季・秋季入学)入試状況(志願者数～入学者数)

研究科	日程	定員	選抜区分	R4年度				R5年度				R6年度				
				志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	
環境共生学 研究科 (博士後期 課程)	春季入学 (春季募集) ※秋季募集は 実施なし	3名	一般	2	2	2	2					1	1	1	1	
			社会人										1	1	1	1
			外国人	1	1	1	1									
	秋季入学	若干名	一般													
			社会人													
			外国人	1	1	1	1									
			水銀研究 国費	2	2	2	2	4	4	2	2					
	合計	3名	一般	2	2	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
			外国人	4	4	4	4	4	4	2	2	0	0	0	0	
	合計			6	6	6	6	4	4	2	2	2	2	2	2	

教 員 一 覧

令和7年度予定

	職 名	氏 名	特別演習のテーマ
生態系環境共生特別演習	教 授	阿 草 哲 郎	微量化学物質精密計測論
	教 授	石 橋 康 弘	環境材料循環論
	教 授	一 宮 睦 雄	海洋生物生産論
	教 授	小 林 淳	環境物質管理循環論
	教 授	張 代 洲	大気物質広域移動論
	教 授	松 添 直 隆 [※]	植物資源生産利用論
	准教授	小森田 智大	沿岸生態環境論
居住系環境共生特別演習	教 授	柴 田 祐	農山村域計画論
	教 授	高 橋 浩 伸	空間デザイン論
	教 授	辻原 万規彦	パッシブ環境調整工学論
	教 授	李 麗	空間構造論
	准教授	鄭 一 止	まちづくり論
食健康系環境共生特別演習	教 授	青 木 朋 子	身体運動制御論
	教 授	下 田 誠 也	臨床病態制御論
	教 授	白 土 英 樹	食品機能分析論
	教 授	友 寄 博 子	食品栄養機能論
	教 授	松 崎 弘 美	応用微生物論
	教 授	松 本 直 幸	健康適応生理学論
	准教授	阿南 弥寿美	食資源安全性論
	准教授	中 嶋 名 菜	給食システム論

※ 令和8年3月退職予定

(注)カリキュラム(教育課程)、シラバス(授業内容)については本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)をご覧ください。

授業科目の講義内容について

授業科目名	講義等の内容
生態系環境共生 特別演習	<p>水域、地圏、大気圏を含めた生態系における物質動態、相互影響に関連する研究手法を修得し、持続的かつ高い生物生産体系、生物多様性、生態系の保全管理手法等の理解をめざし、以下のテーマから一題材を選択し履修する。</p> <p>テーマ1：微量化学物質精密計測論 【内容】環境中で物理化学的あるいは生物学的反応を受け、種々の極性物質へと変化していく微量化学物質を解析する高度な分析計測技術を指導し、さらに反応生成物が生態系に与える影響の評価方法を指導する。 【担当】教授 阿草 哲郎</p> <p>テーマ2：環境材料循環論 【内容】低炭素及び資源循環という観点から、廃棄物のリサイクルプロセスやバイオマスを利用した新エネルギー製造プロセスについて理解させる。 【担当】教授 石橋 康弘</p> <p>テーマ3：海洋生物生産論 【内容】本邦周辺海域の高い漁業生産を支える低次生態系の構造と機能を把握し、持続的な海洋生物資源利用のあり方を議論する。 【担当】教授 一宮 睦雄</p> <p>テーマ4：環境物質管理循環論 【内容】微量環境汚染物質の存在、挙動、毒性影響評価方法を解説し、生態系及び人への健康影響評価、化学物質の処理方法及び適切な管理・運用方法を理解させる。 【担当】教授 小林 淳</p> <p>テーマ5：大気物質広域移動論 【内容】大気中の汚染物質に関する最新の調査データと分析方法について概説し、観測例に基づく大気環境問題に関する研究調査の現状を理解させる。 【担当】教授 張 代洲</p> <p>テーマ6：植物資源生産利用論 【内容】食料生産に関する最新の取り組みについてその考え方・技術を解説し、地球・地域環境における農業生産方法のあり方を理解させる。 【担当】教授 松添 直隆</p> <p>テーマ7：沿岸生態環境論 【内容】干潟を含む沿岸浅海域の海洋環境および生態系の構造と機能について、有明海、八代海などの具体例をまじえて解説し、沿岸生態学の理論と研究手法を修得させる。 【担当】准教授 小森田 智大</p>

授 業 科 目 名	講 義 等 の 内 容
<p>居住系環境共生 特別演習</p>	<p>地球上で人が住まうという行為「居住」を幅広くとらえて、自然・社会と共生する居住環境とは何かの意味を考察すると共に、自然・社会との共生を実現するための具体的な手法の修得を目指し、以下のテーマから一題材を選択し履修する。</p> <p>テーマ1：農山村域計画論 【内容】新たな時代のわが国の農村漁村の方向について、国内外の事例から、農山漁村地域が有する多面的な機能や持続的な仕組みを理解することを通して考える。 【担当】教授 柴田 祐</p> <p>テーマ2：空間デザイン論 【内容】空間デザインにおける審美性に着目し、西洋美との違いを見せる日本美に関する知識を、思想・文化・歴史及び地域性などに学び、今後の日本の空間デザインを考える。 【担当】教授 高橋 浩伸</p> <p>テーマ3：パッシブ環境調整工学論 【内容】持続的な開発とエネルギーの消費、さらに人間の健康と快適性との関係を居住環境調整の立場から考える。 【担当】教授 辻原 万規彦</p> <p>テーマ4：空間構造論 【内容】地震や台風などの自然災害による外力を受ける構造物の空間構造システム、構造デザイン及び構造安全性の評価に関する知識を学ぶ。 【担当】教授 李 麗</p> <p>テーマ5：まちづくり論 【内容】住みたい持続可能な都市づくりを目指し、コミュニティ、リノベーション、DIY、公共的空間、社会実験、空き家再生、エリアマネジメント、観光、サーキュラーエコノミーなどの取り組みとその仕組みを考える。 【担当】准教授 鄭 一止</p>
<p>食健康系環境共生 特別演習</p>	<p>環境共生の視点から、食資源の重要性と種々の食・健康環境要因を総合的に理解し、人々の健康の維持・向上と疾病の予防を図りながら循環型社会を構築するための演習を行う。具体的な手法の修得を目指し、以下のテーマから一題材を選択し履修する。</p> <p>テーマ1：身体運動制御論 【内容】人間の身体における巧みで合目的な運動を可能にしている、脳・神経系や骨格筋の仕組みについて理解する。 【担当】教授 青木 朋子</p>

授 業 科 目 名	講 義 等 の 内 容
食健康系環境共生 特別演習	<p>テーマ2：臨床病態制御論 【内容】 医学・栄養学・薬学の融合科学の視点から、糖尿病、肥満、メタボリックシンドローム、内分泌疾患といった各種疾病の成因や病態を理解するとともに、これらの病態制御に関する最新の知見を踏まえて、新規予防・診断・治療法について検討・考察する。 【担当】 教授 下田 誠也</p> <p>テーマ3：食品機能分析論 【内容】 食品機能に関わる各種食品成分の分析並びに評価法について理解し、健康を維持・向上させる機能性食品、機能素材や高品質食品素材創製を通じた循環型社会の構築を考察する。 【担当】 教授 白土 英樹</p> <p>テーマ4：食品栄養機能論 【内容】 食品由来の栄養素や機能性成分がどのような影響を生体へ及ぼすか評価するとともに、生活習慣病の予防・改善効果について考察する。さらに、食品の機能性表示制度の活用についても検討する。 【担当】 教授 友寄 博子</p> <p>テーマ5：応用微生物論 【内容】 応用微生物学の観点から、健康を維持・向上させる微生物利用食品と食品微生物制御技術、バイオテクノロジーによるバイオマス資源の活用や環境調和型材料の合成などを通じて、食と環境における循環型社会の構築を考察する。 【担当】 教授 松崎 弘美</p> <p>テーマ6：健康適応生理学論 【内容】 身体活動あるいは不活動による生体の構造的、機能的変化のしくみを理解し、生活習慣病の改善や予防（身体の健康）にとどまらず、神経新生を促し認知機能（脳の健康）を維持、増進する効果的な運動処方や食習慣について考察する。 【担当】 教授 松本 直幸</p> <p>テーマ7：食資源安全性論 【内容】 人間活動由来あるいは自然環境由来の化学物質による食品汚染状況や、その生体影響のメカニズムを理解し、科学的根拠に基づく食の安全性ならびにリスク制御手法について考察する。 【担当】 准教授 阿南 弥寿美</p> <p>テーマ8：給食システム論 【内容】 食環境の変化に伴い、ヒトと自然に適した給食のあり方を模索する必要がある。各ライフステージの健康課題を考え、持続的な給食システムを考察する。 【担当】 准教授 中嶋 名菜</p>

<p>特別研究</p>	<p>高度に専門化した特定の研究課題を環境共生学の視点から選び、実験、調査、解析などを通して博士論文の作成を指導する。</p> <p>研究1：海の生態・環境保全に関する研究 研究2：未利用資源を用いた資源循環・エネルギー生成に関する研究 研究3：大気・水中物質の挙動に関する研究 研究4：食と植物生産と環境に関する研究 研究5：建築構造物の安全性に関する研究 研究6：農山村地域の持続に関する研究 研究7：環境に配慮した居住環境に関する研究 研究8：食品の安全性の分析・評価に関する研究 研究9：食品の嗜好性ならびに機能性の分析・評価に関する研究 研究10：食と健康の生理・生化学・管理に関する研究 研究11：食と健康と環境に関する応用微生物学的研究 研究12：食と健康に関する臨床医学的研究</p> <p>特別研究に関しては、上記の研究課題の下、国立水俣病総合研究センターとの連携大学院において、水銀分析や影響評価等に関する研究ができる。</p>
-------------	---

研究志望調書〔博士後期課程〕【春季入学】

受験者氏名： _____

[テーマ]

[概要] (1,200字程度)

- ※1 横書きとしてください。
- ※2 ワードプロ使用、手書きのどちらでもかまいません。
- ※3 この様式は本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

出願資格審査申請書

令和 年 月 日

熊本県立大学大学院
環境共生学研究科長 様

(申請者)

フリガナ

氏 名

生年月日

【 西暦・昭和・平成 】 (※該当するものに○をつけること。)

年 月 日 (歳)

連絡先住所

〒

電話番号 ()

携帯番号 ()

令和7年度(2025年度)熊本県立大学大学院環境共生学研究科(博士後期課程)【春季入学】に出願したいので、個別の出願資格審査を申請します。

氏名 _____

履 歴 書

学 歴	
	※中学校卒業以降を記入。 ※外国人留学生は初等教育（小学校）入学以降を記入。
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
職 歴	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

※ この様式は本学ホームページ「入試情報（大学院）」から印刷可能です。

氏名 _____

研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧

年	月	研	究 (学会発表・論文等)
年	月	教	育

※ この様式は本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

氏名 _____

研究、教育、職務、社会活動等の実績一覧

年	月	職	務
年	月	社会活動 (NPO活動等)	
年	月	その他	

※ この様式は本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

大学施設配置図

日赤病院





熊本県立大学

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

TEL.096-321-6610(教務入試課入試班直通)

FAX.096-383-2364

<https://www.pu-kumamoto.ac.jp>

E-mail:nyusi@pu-kumamoto.ac.jp